

「第五次長野県子ども読書活動推進計画」の実行に向けて

平野小学校 中村仁志

1 教育委員会と学校の連携をお願いしたい。

- ・P14 に書いてあるように、「教育委員会と学校が一体的に学校図書館の整備を進める」ことを望みます。
- ・横断的で有機的なネットワークの構築を進めてほしい。島根県松江市や長野県茅野市に設置されている「学校図書館支援センター」の設置を望みます。先行事例を参考にすぐに設置をしてほしいです。
- ・「校長は学校図書館の館長としての役割を担っており」と「学校図書館ガイドライン」に示されています。学校図書館は、教育のインフラであり、学校教育において欠かすことのできない基礎的な設備であり、図書館資料を収集・整理・保存し、児童生徒及び教職員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与すると共に児童生徒の健全な教養を育成する重要な場です。県として、「学校図書館の館長は学校長」と示してください。そして学校長のリーダーシップのもと、学校図書館教育をさらに前進させていきましょう。費用は全くかかりません。
- ・司書教諭を全ての学校で発令してほしいです。司書教諭は、学校図書館を活用した授業を実施するとともに、学校図書館を活用した授業における教育指導法や情報活用能力の育成等について積極的に助言をしていく役割があります。1・2学級以下の学校にも司書教諭は必要です。費用は全くかかりません。
- ・学校図書館と公共図書館の人事交流をお願いします。長崎県では、公共図書館に行き経験を積まれた方が学校現場に戻り教頭先生として勤務しています。人材の育成は研修だけではないと思います。人事の交流こそ連携として最高の方策と考えます。
- ・県教育委員会には、学校図書館担当の主事先生がいると聞いております。全国学校図書館協議会主催の学校図書館担当主事対象の研修会も開かれています。学校図書館支援センターのような横断的で有機的なネットワークの構築が早急に望まれますが、まずは学校図書館担当主事先生による司書教諭・学校司書対象の伝達講習会を実施していただきたいと思います。
- ・9月17日に「学校におけるデジタル資料の活用促進のための特別研修会」があり、参加しました。貴重な学びの機会となりました。ありがとうございました。早速、12月のオンラインによるワークショップにもう申し込みました。長野県は、デジタルアーカイブの先進県だと紹介して下さり、この貴重な資料をぜひ授業で活用していきたいと思いました。講師の大井先生が、長野県でのワークショップ開催を希望しておられました。ぜひ、長野県でワークショップを開催して豊富なデジタル資源の活用をしていきましょう。

## 質問

- 1 学校図書館と「探究的な学び」の関わりが記述されていない
  - ・学校図書館は、「探究的な学び」を進めていく上で必要不可欠な場所であると考え  
るが、「第4次長野県教育振興基本計画」(P3)には「学校図書館」という言葉が一  
度も出てこない。なぜ「第4次長野県教育振興基本計画」に学校図書館という言葉が  
出てこないのか。探究的な学びと学校図書館の関わりをどう捉えているのか。
  - ・図書館という言葉が出てきた所
    - P10 公民館や図書館の数が多く、
    - P19 電子図書館サービスの充実や、図書館・博物館等のデジタル化
    - P20 県民一人当たり年間貸出冊数(公立としょかん・電子図書館)
    - P21 県立図書館
- 2 長野県の子どもの読書活動を俯瞰的・横断的に捉える継続した調査を行っていく必要  
がある。(P8 ウ 長野県の子どもの読書活動を俯瞰的・横断的に捉える継続した  
調査が無い場合、変化や現状を捉えられていない)
  - ・他県の調査方法を参考にして調査方法を決め出してほしい。